

棟梁集

九

2
4772
7



田川のはらみあり

のつらさ

あかしくもさへよ

みあまのうのしお

や後のまもる

あはれ

あはれまのなまは

たふ

響別

あまのうた

鳥のうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

中

あまのうた

あまのうた

舞

あまのうた

あまのうた

多岐路

多岐路の上より下りてくると毎の佛の
中よりくつりつてくると

華頂より下りてくると

又とととととととと

都より下りてくると

あつたより下りてくると

年日記

あつたより下りてくると

あつたより下りてくると

あつたより下りてくると

あつたより下りてくると

年日記

あつたより下りてくると

あつたより下りてくると

年日記

あつたより下りてくると

あつたより下りてくると

あつたより下りてくると

年日記

かきうりー 聖書のききー ことなきやうに
聖の教子よとれ

若水

汲るる 汲るる 桶 桶 桶 桶 桶
水よとー 汲るる

密蔵院

阿高院のせき

のくまのくま

吹雪ふぬかきうりー やまきん けん けん
かきうりー せん せん

せきふのわのわきまきん せん せん せん せん

やいあふん

きん せん せん せん せん せん せん
きん せん せん

石研

石研のせん

せん せん せん せん

せん せん せん せん せん せん
せん せん せん

せん せん

せん せん せん せん せん せん
せん せん せん

くら

きんぎょーいんぎょのよるまねびつてんじき
い新しきまき

きんぎょーいんぎょのよるまねびつてんじき
い新しきまき

何色細

とまのいんぎょのよるまねびつてんじき
い新しきまき

いんぎょのよるまねびつてんじき

きんぎょーいんぎょのよるまねびつてんじき
い新しきまき

指し入の枝のまき

毎年新物

おもしろいまきの枝
一まきのいんぎょの枝

あゝ観音

いんぎょのよるまねびつてんじき
い新しきまき

おもしろ

きんぎょーいんぎょのよるまねびつてんじき
い新しきまき

あゝ観音

い子口に

お十様の沖やいさかのまをよまらば
かたわしとあるあはれ

白きのおわがうらやまのまをよまらば
のたまをうらやま

お河神

おびんさんまのあつたまをよまらば
三枝のあつたまをよまらば

ふりか

あつたまをよまらば

まつたけのあつたまをよまらば

あつたま

あつたまをよまらば

あつたま

あつたまをよまらば

あつたま

あつたまをよまらば

ことふ

事のまをいさを月極えんのりて
ゆるめりるま
ほとはくこのわの極がくもわれうま
一ちのみのあま

高陽を極

と一極のこく一きくしこえぬうれ
たふまのまつい
りありのあえとなくく一極い
あふもあはれうま

極子見部

君うあ打くあまうわの極う
せしむあやあま

素麻 君の御旅

千あ

極
ゆるめりるま

極

極

おのれは
おのれは

音母

おのれは
おのれは
おのれは

おのれは

おのれは
おのれは
おのれは

おのれは

おのれは
おのれは
おのれは

おのれは

おのれは

おのれは

おのれは

おのれは

おのれは

おのれは

おのれは

おのれは

おのれは

たきちる所へいらるるを
ゆめしうたのいりゆり

まはるき

あかたへしーくあへまのり
見えもあまのいりゆり

まはるき

ゆめあはるのいりゆり
まはるき

おはるき

たきちるのいりゆり

あまのいりゆり

西国橋下納涼長歌

あまのいりゆり
ゆめあはるのいりゆり
あまのいりゆり
あまのいりゆり
あまのいりゆり
あまのいりゆり
あまのいりゆり
あまのいりゆり
あまのいりゆり
あまのいりゆり

あまのいりゆり

手はくちあひあ
ていさきとあ
こころはか
あひあひ
あひあひ
あひあひ

を底しやい子うちあけを舟のわい
ひみのるのそつや燈こはうりとも
たのきりうわくこらくのなまら
町のいそあまに軒をたふはしあ
舟のことあまおん標さちをりし
ひのほげのゆくとこ
あひあひ
あひあひ
あひあひ
あひあひ

後か好れの三回さるる花系懐心と

あひあひ
こころはか
あひあひ
あひあひ

序は 用つ子と唐田神社
神の別れ神とふことひ神
こころあひあひあひあひ

あひあひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひあひ

項羽

Handwritten notes at the top of the right page, including characters like 移 and 移る.

Handwritten text in the right column of the right page, starting with characters like 移 and 移る.

Handwritten text in the left column of the right page, starting with characters like 移 and 移る.

Handwritten text in the right column of the left page, starting with characters like 移 and 移る.

Handwritten text in the left column of the left page, starting with characters like 移 and 移る.

Handwritten text in the right column of the left page, starting with characters like 移 and 移る.

Handwritten text in the left column of the left page, starting with characters like 移 and 移る.

Handwritten text in the right column of the left page, starting with characters like 移 and 移る.

ちんりんちんりん

とりのねまちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

せふよひうをのりあをを

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

通河金子君をほゆき
るまのりるるま
あまのりるるま
わらわのりるるま
りるるのりるるま
目々るるるるるるる
けりるるるるるるる
わらわのりるるるる
のりるるるるるるる

おとんるるるるるる
あまのりるるるるる
わらわのりるるるるる
りるるのりるるるる
よるるるるるるるる
わらわのりるるるる
わらわのりるるるる
わらわのりるるるる
わらわのりるるるる
わらわのりるるるる

おのよはききまいたるは
ひきまらしくたのむる
きりくちまるとるは
まけりくちまるとるは

お琴のまは

あはれまのまのまは
おまらりくちまるとるは

おまらりくちまるとるは

まあおのまのまは
おまらりくちまるとるは

おまらりくちまるとるは

おまらりくちまるとるは
おまらりくちまるとるは
おまらりくちまるとるは

おまらりくちまるとるは

おまらりくちまるとるは
おまらりくちまるとるは
おまらりくちまるとるは

手紙のむすむす
あそなりのあつとよよ
ひのこをらかひ

桐浦静山入る 乃の河さしよの
おのちかきと

かやしよ

人たうまきまおそあや
ころあつとあつとあつと

まじり

うづめとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと

新河 松殿文のそを
信うや

おちんてあつらひのてまも

云々

お月さのあつらひのてまも

お月さ

お月さのあつらひのてまも

お月さのあつらひのてまも

お月さ

お月さのあつらひのてまも

お月さ

お月さのあつらひのてまも

お月さ

お月さのあつらひのてまも

あはれつゝのよきとておぼしき水
さうらひはあまのこころにあらはれ

五月

いぢかひなくともうらやまのこころ
をわらへりやうらやまのこころ

對宗行月

夕べの月をたづねてうらやまのこころ
月影のあはれをこころにあらはれ

あはれつゝのよきとておぼしき水
さうらひはあまのこころにあらはれ

ねほねと静かにその心の子を
あはれつゝのよきとておぼしき水

あはれつゝのよきとておぼしき水
さうらひはあまのこころにあらはれ

あはれつゝのよきとておぼしき水
さうらひはあまのこころにあらはれ

雲柳五

あはれつゝのよきとておぼしき水
さうらひはあまのこころにあらはれ

梅

ふらふらと花を眺めながら
あつたにうらなひの年々

秋葉

あつたにうらなひの年々
あつたにうらなひの年々

秋葉を眺めながらの母を
見たの秋の夕陽の光

あつたにうらなひの年々
あつたにうらなひの年々

あつたにうらなひの年々
あつたにうらなひの年々

あつたにうらなひの年々

あつたにうらなひの年々
あつたにうらなひの年々

あつたにうらなひの年々
あつたにうらなひの年々

あつたにうらなひの年々
あつたにうらなひの年々

あつたにうらなひの年々
あつたにうらなひの年々

あつたにうらなひの年々
あつたにうらなひの年々

あつたにうらなひの年々
あつたにうらなひの年々

あらうらうら ~~あらうら~~

~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~

あらうらうら ~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~

柳上三郎

~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~

柳上三郎

あらうらうら ~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~

~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~

柳上三郎

高年月

あらうらうら ~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~ ~~あらうらうら~~

あはれ十年の文月の中はさうかくらあや
の月をそよて物たあらくよこたはま
さうくさうまやうしとまうまよばくら
池の舟にさうしとまうまよばくら
かゝるのののののののののののののの
はりのののののののののののののの
こまのののののののののののののの
はのののののののののののののの
のののののののののののののの
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

さああああああああああああああ
君はすつとあうううんかあううう
かゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
うううううううううううううう
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

お別れ

はなをよこしつゝいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

あはれいふはよしとあはれいふ

はしつれしきすあはる

即身成身

たかすくちなるいふよふいふあはる
伊よあるといふこ

田舎

たかすくちなるいふよふいふあはる
さあかむ田

徳生海

行のこよあはるの目あはるあはる
あはるあはるあはる

節上

あはるあはるあはるあはるあはる

あはるあはるあはるあはるあはる

あはるあはるあはるあはるあはる

あはるあはるあはるあはるあはる

あはるあはるあはるあはるあはる
あはるあはるあはるあはるあはる

あはるあはるあはるあはるあはる

あはるあはるあはるあはるあはる
あはるあはるあはるあはるあはる

秋

秋の風は涼しい
 木々の葉は黄ばんで
 落ち始める
 空は青く澄み渡る
 雲は白く軽やかな
 夕陽はオレンジ色に
 染まる
 月も綺麗に見える
 秋は静かな季節
 心も落ち着く
 秋の味方

秋

秋

秋の夜は静かな
 月も綺麗に見える
 星も綺麗に見える
 空は青く澄み渡る
 雲は白く軽やかな
 夕陽はオレンジ色に
 染まる
 月も綺麗に見える
 星も綺麗に見える
 秋は静かな季節
 心も落ち着く
 秋の味方

みらるる
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

そりやき
は
あつた
あつた
あつた

毒椒

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

合

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

合

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

書

いふことばのついでに
くろきくろきくろき

おれいよ

おれいよとていふは
おれいよとていふは

おれいよとていふは

おれいよ

おれいよとていふは
おれいよとていふは

おれいよとていふは

おれいよとていふは
おれいよとていふは

あ

あつたあつたあつた

あつたあ

あつたあつたあつた
あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあ

あつたあつたあつた
あつたあつたあつた

其心可乎そんくくーかきん 意

高杉松

はゆぬ人よもいふかたはふいふもつねん 意
のまことひたつていひのりー

高杉松

君こそいふまじき事なり 事、能くあはつてい
ふのまじきあそびかたなり

五仁

君かくいふにふつたはなほいふまじき事なり 意
ふのまじきあそびかたなり

高杉松

うちをらよまゝ人のいふこといふはなほいふまじき事なり 意
了はつていひのりー

高杉松

おもしろいことをいふはなほいふまじき事なり 意
このまじきあそびかたなり

高杉松

成やうにいふはなほいふまじき事なり 意
おもしろいことをいふはなほいふまじき事なり

高杉松

か

か

月夜にあらはれぬる花の影

きえぬ花の影にこそはなれは
増上る方丈はまき子冬を祝
よおののそりしめしきしゆりゆあつ
たくらふは

光

床をぬきし花の影にこそはなれは
きえぬ花の影にこそはなれは
おしむる

花の影にこそはなれは
きえぬ花の影にこそはなれは
おしむる
よおののそりしめしきしゆりゆあつ
たくらふは

花

花の影にこそはなれは
きえぬ花の影にこそはなれは
おしむる

三多の後の句

かきあつふとけりかみこもるふゆ
陽よりついでけりこもるふゆ

ひるを折

かきあつふとけりかみこもるふゆ
外より折りこもるふゆ

初春

若中しついでけりかみこもるふゆ
初春のまよひにけりかみこもるふゆ

初春のの門に

平

かきあつふとけりかみこもるふゆ
のれちりかみこもるふゆ

老馬の春

かきあつふとけりかみこもるふゆ
老馬の春の老馬の

抄平苗

かきあつふとけりかみこもるふゆ
老馬の春の老馬の

老馬の春

かきあつふとけりかみこもるふゆ

考

交

考

考

早朝の事

言水 ~~の~~ 城 ~~の~~ 籠 ~~の~~ 籠 ~~の~~ 籠

ふしき ~~の~~ まる ~~の~~ 山 ~~の~~ 山 ~~の~~ 山

五月

あり ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる

新撰物

物 ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる

三月

見 ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる

二高徳記

世 ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる

三月

お ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる

お ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる

お ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる ~~の~~ まる

考

考

考

昔の昔の
あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた

春田

あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた

春木

あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた

あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた

春江

あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた

春田

あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた

ふりやうしつゝぬのさるひかひ
まのしりきいんせき

源治のしりきいんせき
いんせきいんせきいんせき
いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

抱

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

いんせきいんせきいんせき

つるまの目めはらるる
なすえ
まじりまじりまじり
おくらまのまじり
ゆけりまじりまじり
まじりまじりまじり

一方は世に飛ぶや字遊龍王の
つねまじりまじりまじり
書画のゆけりまじりまじり
まじりまじりまじり

おのれはまじりまじり
まじりまじりまじり
まじりまじりまじり
まじりまじりまじり

まじりまじりまじり
まじりまじりまじり
まじりまじりまじり
まじりまじりまじり
まじりまじりまじり
まじりまじりまじり
まじりまじりまじり
まじりまじりまじり

はむらひのまゝに
いふ

いふ

のまゝに
まゝに
いふ

おまゝに

はむらひのまゝに
いふ

いふ

はむらひのまゝに
いふ

いふ

はむらひのまゝに
いふ

はむらひのまゝに
いふ

いふ

はむらひのまゝに
いふ

はむらひのまゝに
いふ

いふ

ついでに...
ついでに...
ついでに...

歌謡...
歌謡...
歌謡...

ついでに...
ついでに...
ついでに...

ついでに...
ついでに...
ついでに...

歌謡...

ついでに...
ついでに...
ついでに...

歌謡...

ついでに...
ついでに...
ついでに...

歌謡...

ついでに...
ついでに...
ついでに...

あやあやとまきいふな
ひらひら

さしをえゆまをうさしめ
けんさあいのきしのり

子歌

かつらしめあつらふら
かきうらきこふら
あつらうらきこふら
あつらうらきこふら
あつらうらきこふら
あつらうらきこふら

さしをえゆまをうさしめ
けんさあいのきしのり

子歌

あつらうらきこふら
あつらうらきこふら
あつらうらきこふら
あつらうらきこふら
あつらうらきこふら
あつらうらきこふら

あつらうらきこふら
あつらうらきこふら
あつらうらきこふら
あつらうらきこふら
あつらうらきこふら
あつらうらきこふら

ふんふんふんふんふん

ふん

ふんふんふんふんふんふん

子

ふんふんふんふんふん

ふんふんふんふんふん

ふんふんふんふんふん

ふん

ふんふんふんふんふん

ふん

ふんふんふんふんふん

ふん

ふんふんふんふんふん

ふん

ふん

ふん

雅 雅

あつたふしはあつたふし
あつたふしはあつたふし

あ

あつたふしはあつたふし
あつたふしはあつたふし

あつたふしはあつたふし
あつたふしはあつたふし

あつたふしはあつたふし
あつたふしはあつたふし

あ

あつたふしはあつたふし
あつたふしはあつたふし

あつたふしはあつたふし
あつたふしはあつたふし

